

(3) 女性としごと 応援デスク

実施主体	横浜市男女共同参画センター
対象者	再就職・転職を考えている女性
目的	就業に関する女性の悩みや不安の解消や、具体的な就職活動についての助言等、女性の就業を総合的に支援する。
実施時期	2015年3月から継続実施
事業内容	<p><男女共同参画センター横浜北></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のキャリアコンサルタントが相談窓口に着駐（週3日） ・再就職、転職等、就業支援情報の提供と就職活動の助言 ・キャリア・カウンセリング（週2日）、シングルマザーの就労相談（年6回）、福祉・介護のしごと相談（年3回）を実施 ・ハローワークの求人情報検索端末、職業適性診断システム設置 ・セミナー開催（月1回、年12回） ・女性としごと情報コーナー（関連図書、セミナー情報等配架） ・女性のしごと応援サイト「よこはま女シゴト」を展開 <p><男女共同参画センター横浜></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・カウンセリング（月5回）、職場の人間関係・ハラスメント相談（月1回）、福祉・介護のしごと相談（年3回）を実施 ・セミナー開催（年4回） ・女性としごと情報コーナー（関連図書、セミナー情報等配架） <p><男女共同参画センター横浜南></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・カウンセリング（月1回）、労働サポート相談（月1回）を実施 ・セミナー開催（年4回）
定員	なし
参加費	無料
情報掲載URL	http://www.women.city.yokohama.jp/wwsupport/
協働先について	横浜市政策局男女共同参画推進課 2015年3月、横浜市よりの委託事業として男女共同参画センター横浜北の施設内に開設。2016年4月より横浜市男女共同参画センター3館で指定管理業務として実施
実績	対応件数 のべ 1,973 件（2015年3月～2016年12月）
直接事業経費（概算）	7,000 千円（2016年度予算ベース 男女共同参画センター横浜、横浜南での事業開始に伴う初期費用を含む。）
財源	指定管理料

1 事業の背景

(1) 横浜市の「女性の就業ニーズ調査」～「働きたい」が約9割

横浜市では、「日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市」の実現を目指して、女性の活躍を応援するさまざまな取り組みを行っている。しかし女性の年齢階級別労働力率をみると、30歳代以降は全国平均よりも低く、結婚・出産・育児を機に離職する女性の割合が多いうえに、再就職率も低い状況にある。そこで、女性の就業支援施策をさらに進めるため、再就職や就業継続などに関する希望や悩み、必要とされる支援などを把握することを目的に、横浜市民局男女共同参画推進課（当時）により「女性の就業ニーズ調査」（2014年度）が実施された（対象：横浜市内在住の満20歳以上49歳以下の女性 3,000人、有効回答者数932人）。

調査結果から、結婚・出産・育児を機に仕事を辞めた人が7割以上にのぼること、現在、収入を伴う仕事をしていない人の約9割に就業意向があることが明らかになる一方、仕事と家庭生活との両立に困難や不安を抱えていることが再就職の障害となっていること、そして求人情報等の提供やマッチングなどが求められていることが浮き彫りになった。

(2) 女性のための再就職・転職のための「総合相談窓口」を開設

この結果を受け、就労に向けたセミナー・訓練に関する情報提供や、個別の事情に応じたきめ細やかな就業支援を行う無料の相談窓口として、2015年3月、男女共同参画センター横浜北（以下、センター北）1階に「女性とごごと 応援デスク」（以下、応援デスク）が開設された（横浜市からの委託事業）。同館が選定された背景として、子育て世代が多く女性の年齢階級別労働力率の、いわゆるM字の谷が市内でも特に深いと言われる青葉区・都筑区からのアクセスが便利であること、2005年の開館以来、女性の再就職支援に力を注いできたことなどがあげられる。就業支援に特化した専門機関ではなく、男女共同参画センター内に設置されていることで、就業開始時期や働き方などが必ずしも明確ではない、いわば「就職活動前段階」から気軽に相談できること、相談員が男女共同参画の視点を持ち就業の背景にある個人的な事情も安心して話せる等が特徴となっている。2016年度より、より多くの女性がサポートを利用できるように業務を拡大し、男女共同参画センター横浜（以下、センター横浜）、男女共同参画センター横浜南（以下、センター南）を加えた3館で、指定管理業務として展開することになった。



2 事業内容

(1) 2015年3月、センター北に「女性とごごと 応援デスク」を開設

プライバシーに配慮した、かつ親しみやすい相談スペースとして、センター北1階の1部屋をリニューアルし、常設の「女性とごごと 応援デスク」が開設された。開室日・時間は、

日曜・火曜・木曜（祝日等を除く）の週3日、9時30分～16時30分（昼休み1時間）である。相談業務は、主催事業として実施していた「キャリアコンサルタントによる女性のための就職・転職相談」等で協働し、男女共同参画への理解の深い女性のキャリアコンサルタントを擁する（一社）日本産業カウンセラー協会神奈川支部に委託した。無料相談には子どもの同伴可としているが、本人の希望に応じて未就学児の保育も提供している（有料、保育料免除制度あり）。

① 就活ナビゲーター

女性のキャリアコンサルタントが相談カウンターに、就活ナビゲーターとして週3日常駐し、再就職、転職、起業等、就業に関する支援情報の案内や就職活動の支援を随時行っている。予約不要で、対応時間の目安は1人20分程度としている。

② キャリア・カウンセリング

経歴やスキルの棚卸し、今後の働き方のプランニングを支援するほか、就業に関する悩みや不安についての相談にも対応している。週2日、予約制、1人50分である。

③ ハローワークの求人情報検索端末（2015年9月より）

ハローワークのシステムにオンライン接続している端末機で、求職者登録なしで求人情報の収集、求人票の印刷ができる。スタッフの操作により、最新の応募状況等の確認も可能である。

④ 情報コーナー

応援デスクの入口外側に専用の情報ラウンジを設置した。重点的に収集している就業関連図書の見覧（貸出可）や、求人情報紙、セミナー告知チラシ等を入手できる。

(2) 3館に業務を拡大

2015年度の順調な利用状況を受け、横浜市の要請で2016年度より指定管理業務として3館での展開が決定した。アクセスポイントを増やし、利便性を高めるとともに、無料で利用できる就業支援事業のメニューを拡充した。

① キャリア・カウンセリング

センター横浜では、従来は有料で実施していた「キャリアコンサルタントによる女性のための就職・転職相談」を無料化し、実施枠を拡大した。その結果、リピート利用が可能となり、伴走型支援が可能となった。センター南では月に1日（4枠）を新設した。

② ミニセミナー

「ブランク10年からの再就職」「非正規→正規」「保育事情」「子育て家庭のライフ＆マネープラン」「アラフィフのための老後の備え」など、対象やテーマをしばって3館で開催し

ている。

③ テーマ別相談

各館の地域性や他に実施している事業の特徴やを活かしながら、従来の「しごとの相談事業」を統合した。「社会保険労務士による女性の労働サポート相談」（センター南）、「職場のハラスメント相談」（センター横浜）は無料化した。行政や関連団体との協働により無料で実施していた「シングルマザーのための就労相談」と「福祉・介護のしごと相談」も、応援デスクのメニューに転換し、引き続き専門的な相談に対応している。

④ キャリア・インサイト（2016年8月より）

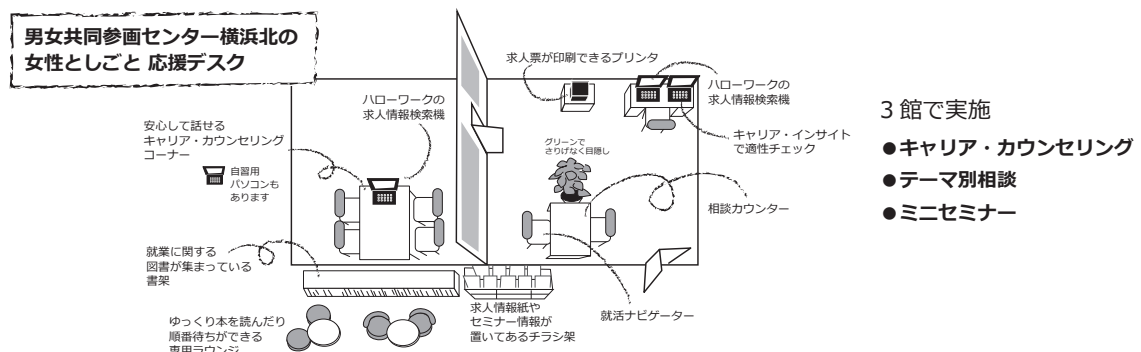
自分でパソコンを操作する「職業適性検索システム」を設置し、どんな仕事が合うかわからない、職種についての知識が少ない等の利用者へのサポート導入ツールとして、また、キャリア・カウンセリングの素材として活用している。

⑤ 自習用パソコン（2016年8月より）

自宅にパソコンがない利用者のために、センターのパソコン講座で使用していた中古機を再利用して、操作練習のほか、応募書類作成用に提供している。

⑥ 関連ウェブサイト「よこはま女（ジョ）シゴト」

横浜で働く・働きたい女性たちが、もっと輝くことを応援するサイトとして開設した。幅広い分野で活躍している女性たちをロールモデルとして紹介するほか、「保活」や「がん治療と就労」などさまざまな情報を提供している。



3 成果と課題

(1) 「女性としごと 応援デスク」から見えてきたこと

子育て中の女性の再就職には、就職先を得ることだけではなく、保育の確保、家庭や子育てとの両立についての不安の解消や、そうした事情に対して職場の理解を得ることなど複数の課題が絡み合っている。また、ブランクのある女性の場合、自分の能力を過小評価

しがちで、自己効力感が低い傾向がある。キャリア・カウンセリングの終了後には、「少し自信がわいてきた」「一歩踏み出す勇気が出た」という感想が寄せられることが多い。「働きたい」という思いはあっても、「何から手をつけたらいいのかわからない」ということで来室する利用者が多いのは、「女性としごと 応援デスク」の特徴の一つである。就職活動の前段階の女性にとって、自分のペースが尊重される、敷居の低い相談窓口が求められていると言える。

もう一つの特徴は、本人や家族の心身の健康に関する問題や離婚、子育て、介護など就業と密接につながる個人的な状況が多く語られることである。男女共同参画センターに設置されているので、安心できる場であることが大きな要因であると考えられる。第二新卒の20代の女性から、60歳以上の女性まで、利用者の年齢の幅は大きい。復職に自信が持てずに悩んでいる育児休業中の女性の利用もあれば、老後の生活設計に不安を感じている50代、60代からの相談もある。中長期のライフプランに基づいて、利用者本人がよりよい選択ができるように支援することを大切にして、業務にあたっている。女性が抱える子育てや介護の不安や悩みを支え、自発的・自律的に決定していくことを大切にし、本人が納得できる選択（自己決定）を尊重しているのは、男女共同参画センターが行う再就職・転職支援ならではのと言える。

(2) より有効な支援を広げるための取り組み

本事業の中核的なターゲットを、いわゆるM字の谷に位置する子育て中の女性に置いていることもあり、リーフレット等の広報ツールは「親しみやすさ」を特に意識している。また、就職活動の準備内容をリスト化したカードを用意し、必要な項目を可視化するなど、就職活動の成功率をあげる取り組みも行っている。子育て中の女性やブランクの長い女性には、一足飛びのフルタイム就業ではなく、徐々にペースをあげていく中期的なライフ&キャリアプランで成功体験を積み重ねる戦略の提案も行っている。

スマートフォンやパソコンでの情報収集等が一般化し、来館型の事業は利用者にとってハードルが上がる傾向があるが、今なお顔の見える支援は欠かせない。2016年度からスタートしたミニセミナーの3館での実施に加えて、実質的な3年目となる2017年度には、キャリア・カウンセリングやミニセミナーを、子育て支援拠点等に出張して実施し、利用者を掘り起しを行う予定となっている。

(3) 課題

就労支援の分野では、実績の数値化を求められることが多い。応援デスクは、ハローワーク等に比べて、利用者に寄り添って長期間にわたる支援を行っているため、短期的な成果は示しにくい。また、相談を利用しやすいように、就活ナビゲーターが対応する場面では、あえて連絡先などの個人情報収集していないため、利用後の動向把握は難しい。こうした事情から、成果の数値化は難しい面がある。事業の有効性を示す評価方法を模索していくことは、今後の課題である。

■事業参加者インタビュー

Aさん 50歳

離職期間は10年間。第一子の妊娠・出産まで、美容師として第一線で働いてきた。



49歳だった2015年の秋、「40代と50代では受ける印象が違う。何かを始めるには今しかない」という気持ちでいたときに、横浜市の広報紙で「女性のための再就職応援セミナー」の開催を知り、参加した。子ども（当時小学4年生と2年生）が留守番できる年齢になったし、70代で現役の理髪師の母や、義父の介護と仕事と両立させている義母が、孫に小遣いをあげている姿を見ていて、私もこのままではダメという気持ちもあった。

セミナーでは、子どもが小さくても、10年後を見据えて今やるべきことを見つけることが大切、という話が印象的だった。そのころ、再就職にあたって2つの壁を感じていた。一つは、10年のブランクゆえに流行のある前職の経験が活かせないこと。もう一つは、仕事の時間が不規則な夫やそれぞれの実家とは子育てをシェアできず、働ける曜日や時間帯が限られることである。

セミナー後、求人情報誌で探したいいくつかの募集先に電話をかけてみた。条件に合う仕事はなかなかなく、ライバルの多い求人はスピード勝負という現実を痛感した。セミナーで、応援デスクのチラシを入手したので、就活ナビゲーターをたずねてみた。再就職に向けて、すばやく行動を起こしていることが素晴らしいとほめられ、とても励まされた。美容師の世界は、リクルートスーツや履歴書の書き方とは無縁の世界である。その日は、履歴書の書き方についての情報サイトの紹介など適確な助言を受け、次回の予約（キャリア・カウンセリング）をとった。2回目には履歴書の書き方の指導と面接の受け方のアドバイスを受けた。その後、業種の絞り方などのアドバイスを受ける予定だったが、2015年12月、最初のステップとして応募した求人で採用された。

再就職に踏み出したのは、週2～3回、14時から19時まで、4月までの期間限定の仕事（制服販売）だった。接客の仕事は美容の経験が活かせると考えた。最初のパートで、働く自信が持てたことと、複数のパートをこなしている同僚に刺激も受けたことで、契約終了を前に、次の仕事を探すことにした。このまま専業主婦で終わるのは悔しいという気持ちがあった。接客で感じた手ごたえをもとに、訪問美容の募集に応募して採用された。介護施設などを回って髪をカットしたり、時にはパーマをかけたりする訪問美容は、長年培ったスキルが活かせる美容の仕事でありながら、週末が忙しいということはなく、シフトに融通も利くので、今の自分に合った働き方だと思う。道でばったり出会ったママ友は後日「イキイキ輝いていた！」と言ってくれた。応援デスクのサービスはとてもいいと思ったので、友人にどんどん紹介している。パートから段階を踏んで働きたい人が利用してもいい場所であるということが、もっと知られるとよいと思う。

■ヒアリング実施日・場所：2016年12月27日（火）・男女共同参画センター横浜北

女性としごと 応援デスクは
あなたの「働きたい」をサポートする
再就職・転職の総合相談窓口です。

無料

保育

予約制・有料

3館のサポートプログラム

アートフォーラムあざみ野



予 約
問 合 せ

就活ナビゲーター在室日 TEL 045-910-5765
または TEL 045-910-5700

- ◎就活ナビゲーター
- ◎ハローワークの求人情報検索コーナー
- ◎キャリア・カウンセリング
- ◎女性のための福祉・介護のしごと相談 ※
- ◎シングルマザーのための就労相談（横浜市在住者限定）
- ◎ミニセミナー
- ◎情報コーナー

フォーラム（戸塚）



予 約
問 合 せ

TEL 045-862-5052

- ◎キャリア・カウンセリング
- ◎女性のための
福祉・介護のしごと相談 ※
- ◎女性のための
人間関係・ハラスメント相談
- ◎ミニセミナー
- ◎情報コーナー

フォーラム南太田



予 約
問 合 せ

TEL 045-714-5911

- ◎キャリア・カウンセリング
- ◎社会保険労務士による
女性の労働サポート相談
- ◎ミニセミナー
- ◎図書コーナー

※ 女性のための福祉・介護のしごと相談
予約・問合せ「ウィリング横浜」
TEL: 045-847-6674（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
Eメール: jinzai@yokohamashakyo.jp

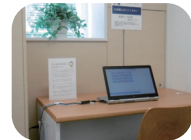
就活ナビゲーター 予約不要

アートフォーラムあざみ野の「女性としごと 応援デスク」には、女性キャリアコンサルタントが常駐。就職準備の進め方、仕事の探し方、履歴書の書き方、面接の直前対策など、その場でサポートが受けられます。混雑時はひとり20分を目安に順にご案内します。



「できるだけ早く就職したい」「1~2年後に就職したい」それぞれのプランにあわせて準備を進められるサポートプログラムもあります。

日曜・火曜・木曜 9:30 ~ 16:30 昼休み 12:00 ~ 13:00
* 祝日、5/1、8/14、年末年始を除く 最終受付 16:00



ハローワークの求人情報検索

キャリア・カウンセリング 予約制

これまでのキャリアの見直し、今後の働き方のプランニング、不安に感じていることなど、経験豊富なキャリアコンサルタントがじっくりお話を伺います。応募先に合わせた面接指導（模擬面接）などにも対応します。



〔あざみ野〕 日曜または火曜・木曜
〔戸塚〕 月曜・第2土曜
〔南太田〕 第1金曜
10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00
各 50分 * 祝日等で休みになる場合があります。

女性のための 予約制 人間関係・ハラスメント相談

「職場でいやがらせをされている」「出勤日の追加や残業を強制される」経験をつんだ女性の相談員が状況の整理のお手伝い、情報提供をします。



第4土曜
13:30 / 14:30 / 15:30 各 50分

社会保険労務士による 予約制 女性の労働サポート相談

女性の社会保険労務士が、労働条件・税・社会保険・労働保険などの法律や年金などの制度について情報提供を行います。



第2水曜
13:00 / 14:00 / 15:00 各 50分

女性のための福祉・介護の 予約制 しごと相談

福祉の仕事に関することならどんなことでもお気軽にどうぞ。 お問合せ：左ページ参照



シングルマザーのための 予約制 就労相談（横浜市在住者限定）

「ひとり親サポートよこはま」の就労支援員が相談に対応します。これからひとり親に、という方もどうぞ。



ミニセミナー 予約制

ライフ＆マネープラン、ビジネスマナー、応募書類の作り方など、気軽に参加できるセミナーを3館で開催します。開催情報はお気軽にお問い合わせください。



就職関連の書籍やセミナー情報、求人情報誌などが集まった情報コーナー

(4) 結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業「地域人づくり事業（非雇用型）」

実施主体	一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団 とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ 指定管理者
対象者	年齢階級別労働力曲線（M字曲線）の谷間にあたる年齢層で、結婚・出産等による就労中断を経て再就職を希望する女性
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事と生活の両立、再就職、能力開発を支援し、多様な職域や職種に対応でき、地域ニーズに合致した人づくりを担う。 ・ 地域の企業に対して女性の雇用促進を多方面から提案する。
実施時期	2014年9月1日（月）～2015年8月31日（月）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のための再就職支援セミナー <ul style="list-style-type: none"> A) もう一度働く入門講座（原則月1回開催、全8回） B) もう一度働く！短期集中講座（11日間。PC講座でスキルアップ、就活実践講座でマインドアップ。全4期開講） C) 就活カフェ（短期集中講座受講者対象。原則月1回、全10回） D) 個別相談（短期集中講座受講者対象） ・ 再就職を希望する女性のための合同企業面接会 <ul style="list-style-type: none"> E) 合同企業面接会（2回） ・ 女性を採用したい企業の発掘および企業向けセミナー <ul style="list-style-type: none"> F) 事業者向けセミナー（2回）
定員	A) 25人 B) 18人 C) 10人 D) 24人 E) 定員設定なし F) 25人
参加費	無料
情報掲載 URL	http://www.toyonaka-step.jp/10_working_support/w_01_re-employment.htm
協働先について	池田公共職業安定所（第2回合同企業面接会の企業募集、就活カフェへの講師派遣、出口支援） 豊中市地域就労支援センター（合同企業面接会の企業募集、相談窓口） 豊中商工会議所（事業者向けセミナーの共催）
実績	事業終了後の就労者数：44人（2015年9月末時点） ※短期集中講座受講者を中心とした就職支援者78人の56.4%が就職
直接事業経費	委託金額全体で8,345千円
財源	委託料

1 事業の背景

「結婚・出産等により離職した女性のための ICT 能力活用就業促進事業」は、厚生労働省による「地域人づくり事業」の枠組みで、大阪府が国より受けた交付金を原資として豊中市に補助金を支給し、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団（以下、財団）が豊中市より受託して、2014年9月～2015年8月の1年間にわたって実施した事業である。

豊中市は大阪市など他都市への通勤者が多い、いわゆるベッドタウンで、転勤等による人口移動も多い。財団では、豊中市の地域特性と女性の再就職ニーズについて次のように考えていた。

- ・所得が高い世帯が多く、経済的な困窮度は低い。
- ・再就職を希望する女性たちは、安定した生活の中でかえって自信を失っている面があり、自信回復のためにもパソコン検定などの資格取得の希望が強い。
- ・自分自身のキャリアプランを考えにくい。

本事業は結婚や出産で離職した後、再就職を希望する女性を支援するもので、ICT能力を身につけることで就労を促進するとともに、スキルアップだけではなく、マインドアップと情報提供の要素を組み入れ、通年で計画的に実施した。

なお、財団では「人と地域を元気にする男女共同参画」を実現するために、就労および就労の継続支援は重要なテーマであると考え、かねてより「女性就労の支援事業研究会」を立ち上げ、女性の労働に関する調査研究事業を行ってきた。同研究会では、本事業の成果を「女性の再就職支援に向けて求められる取組」として、2015年度に豊中市へ政策提言を行った。

2 事業内容

(1) プログラム内容

《複数のプログラムを、時期をずらしながら段階的、体系的に実施した》

① 「もう一度働く入門講座」(A) (以下、(A))

本事業の中核となる「もう一度働く！短期集中講座」(B) (以下、(B)) へ応募を促すために設定した講座である。(B)の講師が担当し、(B)の内容を先取りし、受講者に対して、それぞれのライフデザインを描き、そのうえで働くことを考えていくように働きかけた。また、ロールモデルとして、さまざまな職種・働き方で社会と関わる女性を紹介した。受講者の志望が事務職に偏っていたので、事業の後半では、職種や働き方選択の幅を広げるべく、多様な職種、特に介護職や接客業、派遣社員として働いている事例を紹介するようにした。



② 「もう一度働く！短期集中講座」(B)

1日5時間×11日間の連続講座を事業期間中に合計4期実施した。パソコン講座と就活実践講座、それぞれ約25時間が主な内容で、定員はパソコン台数の関係上、18人とした(第1期のみ20人)。(A)受講者を対象に申込を受け付けたが、応募が非常に多く(平均定員応募率202.7%)、応募動機の多くはパソコン講座を無料で受講できることだった。

応募者は、当初財団が想定していた「夫の収入が安定している専業主婦」とは異なり、経済状況、家族状況、心身の状況などさまざまな困難を抱えていることがわかった。

就活実践講座ではほぼ全ての回にグループワークを取り入れ、受講者が発言する機会を設けた。家族以外とコミュニケーションすることで、考えをまとめ、自分の言葉で働きたい気持ちを言語化し、表現する力をつけることにつながった。開講時に守秘義務を確認して、安心して話せる場づくりを行ったことが、自己開示に伴う不安を軽くした。グループワークを繰り返し行ったことは、受講者同士の仲間づくりにつながり、講座終了後も自主的に期単位での同窓会などが開かれている。

③ 「就活カフェ」(C)

「就活カフェ」は、就職活動中のモチベーション維持を目的に、短時間の講義と交流会で構成したプログラムである。大阪マザーズハローワーク・池田公共職業安定所と連携し、ハローワーク相談員に講師を依頼した。当初は(B)修了者のフォローアップとして実施したが、定期的で開催したことで周知が進み、修了者以外の受講も増えていった。「いざ面接!の困った対策」など、実践的なテーマ設定が対象者ニーズに合致していたと思われる。

④ 個人面談(D)

(B)修了者に対しては個人面談を行った。当初は(B)実施後に個別面談の枠を特設したが、事業の後半では、とよなか男女共同参画推進センター指定管理業務として実施している「就職準備相談」を増枠し、定期的にご利用できる体制とした。この他の就労相談をあわせると(B)修了者の52.8%は何らかの相談を利用した。

⑤ 合同企業面接会(E)

財団は職業紹介機能を持たないため、無料職業紹介所・豊中及び池田公共職業安定所と連携し、豊中商工会議所の後援を受けて合同企業面接会を実施した。(B)修了者および(A)などの受講者で財団が発信しているメーリングリストにアドレスを登録している方に告知したほか、駅貼りポスター、新聞折り込み広告などで広報を行った。

⑥ 地域の事業者向け事業(F)

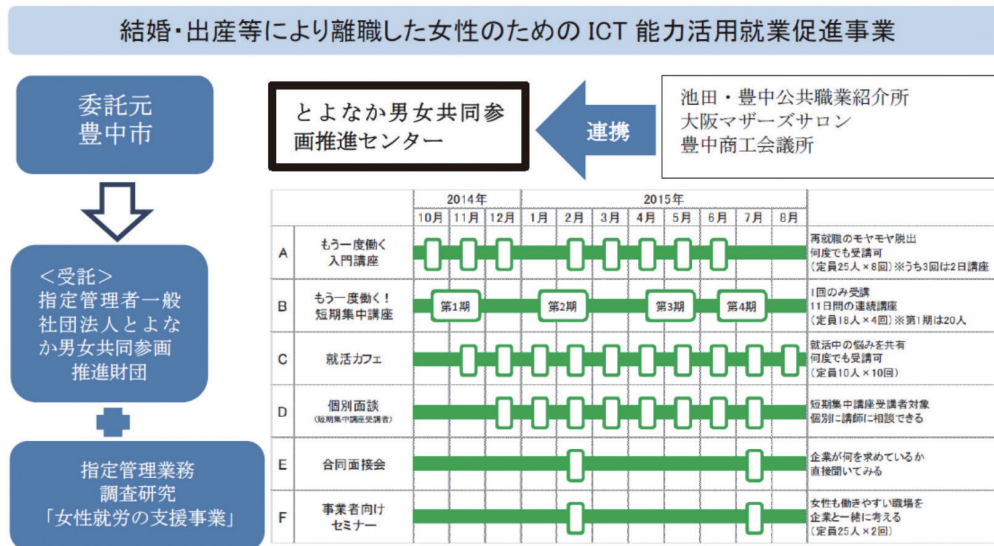
(F)の特徴は、経営者の視点に立って事業者に働きかけた点である。女性が働きやすい職場づくりを行うことが、優秀な人材の採用や定着につながり、結果として経営面でのメリットとなることを解説するセミナーを2回行った。豊中商工会議所や豊中市都市活力部産業振興課からの意見も聞き、関係部署との連携ができた。第1回は子どもの急病で休まざるをえない、残業ができないなど、さまざまな事情があっても女性が働き続けられるよ

うに、柔軟な勤務体制を設けて、業務の標準化や効率的な分業体制づくりが進んだ事例を紹介した。第2回は、結婚・出産した女性が働き続けられる職場環境を女性社員が中心となって作り上げてきた事例を紹介した。

(2) 内容の改善と受講者への継続的な支援

講座の内容は開催を重ねるごとに見直しを行った。受講者には毎日「コミュニケーションカード」に感想を記入してもらい、講師にフィードバックした。また、各期の終了時には、講師を交えて受講者一人ひとりの支援課題等を共有する振り返りを行った。

また、財団からは(B)の終了後も定期的にメールを配信し、ほかの受講者の就職活動の様子や、財団が実施する再就職支援事業の情報を提供した。事業終了後もメール配信を続け、近隣の求人情報も提供し、支援を継続している。



3 成果と課題

(1) 事業の成果

(B) 受講者を中心に、集中的に支援を行った78人のうち、44人(56.4%)が就労するという実績をあげた。就労者44人の雇用形態は59.1%がパートタイマーだった。就業時間は正規雇用者とはほとんど差がないにも関わらず、パート枠での採用という、いわゆる「フルタイム勤務のパート」のケースも見られた。一方で、ブランクを経ての再就職のため、まずパートタイマーとして就労し、その後、契約社員、正社員をめざすことを選択した方もいた。

(2) 年齢階級別労働力曲線のM字の谷間にあたる層への就労支援が必要とされること

① ICT能力を身につけるスキルアップ講座

離職後の女性はブランクがあることから自信喪失しており、再就職のために求められているICT能力のレベルが基礎的なものでも、気後れして一步を踏み出せない場合が多い。

離職中である対象者は民間のパソコンスクールの高額な受講料は負担が難しく、ICT能力の不足から安定した就労につながりにくい実情もわかった。無料または安価でICT能力を獲得できる機会の提供は、スキルアップにとどまらず、就労に踏み出す自信回復にも有効であることがわかった。

② ブランクによる自信喪失からの回復に有効なマインドアップ講座

受講者はコミュニケーション力や、実務能力など多くの面で就労への不安要素を抱えていたが、(B)の1日5時間、週4日、約3週間の講座に通うという経験自体が自信喪失からの回復に役立ち、修了時には大きな達成感を得た方も多かった。また、受講者はグループワークを通じて悩みを共有し、励まし合える仲間を得て、前向きな気持ちを強めていった。プログラムに労働法に関する基礎知識や、働くこと、社会保障について学ぶ機会を加えたことは就労への一歩の背中を押すことになった。

③ 就職活動を後押しする情報提供や相談機会をつくる

ハローワークへ行ったことがない受講者も多かった。ブランクを経て再就職しようとする女性は、就職活動について相談する先を持たないこともわかった。本事業では、ハローワークの利用方法等について情報提供を行ったこと、個別相談で課題整理をしたうえで具体的なアドバイスをしたことが就職活動へ向けた後押しとなり、ハローワーク訪問につながり、応募から内定につながった受講者もあった。

(3) 課題

① 求職側と求人側の職種の不マッチ

受講者の希望は事務職が多いのに対し、合同企業面接会出展企業の求人は「介護・営業・清掃」が多く、募集人数は介護41.3%、事務系4.8%と大きく差があった。また、参加企業数に対して十分な求職者数を確保できたとは言えず、課題が残った。

② 中長期的な視点に立ったキャリア形成支援

現状では、女性が家事・育児の主な担い手である場合が多いため、再就職にあたって女性は時間的な制約から短期の契約社員やパート勤務を選択する場合がある。しかし、将来、家事や育児の負担が軽くなれば、もっと仕事に比重を置きたいと考えている女性も多い。採用側も、非正規雇用からの正規雇用への転換を可能にするなど、中長期的な視点に立って、再就職女性が十分に能力を発揮できる職場環境を検討してほしい。

③ 両立への不安と働き方について

国や地方自治体においては、育児・介護休業法の改正や保育所の整備など両立支援策が進められているが、長時間労働が当然視される働き方や、性別役割分担が解消されなければ、女性が仕事と生活の両立に不安を感じるのは当然のことである。これらは個人の努力だけでは解決し難い、社会全体の課題である。

■事業参加者インタビュー

金沢 恵津子さん
(34歳 第2期生)



6年前、結婚と同時に仕事を辞めて豊中市に引っ越してきた。1日5～6時間のアルバイトを週に3～4日していたが、妊娠後は専業主婦になった。子どもが3歳のころ、育児に疲れてこのままでいいか悩んだが周りに知り合いもおらず、夫に話しても「自分は働いて疲れているんだからがまんしろ」と言われ、親に相談しても「旦那さんが稼いでいてくれているんだからがまんしろ」と言われた。本音で話し合える相手もおらず、孤独感と自分の無力さに追い詰められた気持ちで日々を送っていた。子どもと離れる時間も持ちたがいし、これからの自分の人生を暗い方にしか考えられず悩んでいた。

そんな時、買い物に出かけた駅ビル併設のすてっぷで本事業のチラシを見つけた。家から近いし、パソコンなら仕事につながるし、ビジネスマナーも勉強したかった。無料だから特に反対もされず、「行きたい」と言える後押しになった。働くとなれば、規則正しい生活に慣れることが必要だと思って、ボリュームのあるプログラムは安心できると思った。

パソコンは結婚前の会社でも使ってはいたが、フォーマットに入力するだけで、講座で文書作成やエクセルの計算式など、基礎的なことをたくさん教えてもらい、「やればできる」という自信につながった。受講前、夫は「本当に長い期間通えるのか？」と言っていたが、パソコンを家で練習していると、操作を教えてくれた。「意外とこの人(夫)も役に立つわ」「すごいわ」と思うこともあり、逆に夫から「これは知らんわ。こんな難しいことやっているのか」と言われたりもして、夫とのコミュニケーションも変わってきた。

また、さまざまな世代の受講者18人と毎日のように一緒になって学んだことで多くのことを教わった。これまでは子ども中心の話題しかないママ友や学生時代や会社など同年代との付き合いしかなく、人生の先輩である年上の方の話がとても新鮮だった。

集中講座終了後は、モチベーションが下がらないよう積極的に就活カフェや合同企業面接会に参加した。しかし、子どもの預け先等の問題もあり、職探しはスムーズに行かなかった。そんな時、パソコン講師の堀山先生から、3ヵ月でアシスタントをしないかというお声掛けがあり、すてっぷの託児も利用できたので働いてみることにした。

夜遅くまでの勤務もあったが、夫に相談したところ、自分も協力できることはするからと言ってくれた。パソコン知識の少なさや家、子どものことなど不安要素はたくさんあったが、これは自分を変えるチャンスだと思った。アシスタントの仕事で受講者から質問を受けたりしていると、自分の意外な一面も発見できたり、自分の仕事に対する気持ちにも気づけた。

今年、子どもが幼稚園に入り、もう一度仕事を探そうと思った頃、子どもに病気が見つかり、今は治療に専念しているが、子どもに体力がついて落ち着いたら、再チャレンジしたいと考えている。その間も、すてっぷがあることで、情報収集や、気軽に相談できる安心感があり、再チャレンジできる勇気をもらえてる。

■ヒアリング実施日・場所：2016年11月26日(金)・すてっぷ

地域人づくり事業「結婚・出産等により離職した女性のためのICT能力活用就業促進事業」受講者募集

「もう一度」働く！講座 第4期受講生募集

短期集中就活&Excel検定対策

**受講
無料**

保育あり(有料)
※検定受験料有料

Excelに自信をつけて再就職！

結婚・子育てで退職したけれどもう一度働きたい・・・
Excelは少し使ったことがあるけど、自信がない・・・
履歴書にPRできる資格が欲しい・・・
自信をつけて就職活動したい・・・

**女性
限定**

※定員18人

Excelの検定合格を目指した再就職支援講座です

再就職に向けて就活実践講座と自己PR・Excelを学習



「Excel、できます！」と言える検定合格

履歴書でPRできる資格が欲しい、自己流だったExcelをマスターしたい、自信をつけて再就職したい・・・にお応えします。日本情報処理検定協会「表計算」合格を目指した検定対策講座です。(全10回25時間+検定受験)

あなたの「働きたい」を再確認

就活は働きたい気持ちをあなたの言葉で伝えることから始まります。自分を見直し、あなたの「働きたい」を再確認。知っておきたい就活のコツや応募書類作成、長く働くために必要な労働法、社会保険の制度についても学びます。(全11回27.5時間)

しっかり学べる
**11日間集中
プログラム**
6/22~7/9
(月火木金のみ)
9:30~15:30
※詳細裏面

※本講座は、厚生労働省の地域人づくり事業により、受講料はかかりません。(検定受験料・一時保育料は有料)

**目標は
検定合格
再就職**

- ・日本情報処理検定協会の情報処理検定「表計算」受験込みプログラム
- ・4級から初段まで自分のレベルにあわせた受験が可能。
- ・検定問題は実際の仕事で使われる文書中心で、実践的。
- ・受験料は級によって1500~3000円(検定受験料は自己負担必要)
- ・Excelの「入力」ができる方ならば、受講できます。(キーボード操作必須)

※「もう一度働く！入門講座」受講者の受講を優先します。
くわしくはすてっぷのホームページまたは入門講座チラシをご覧ください。

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

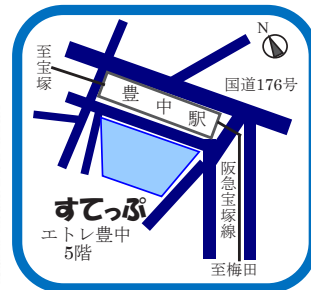
応募締切：2015年6月11日(木)17時 まで

お申込みはWEBフォームまたはFAX(裏面)で→

お問い合わせは すてっぷ まで <休館日：水曜日>
〒560-0026 豊中市玉井町1-1-1-501
電話：06-6844-9773 FAX：06-6844-9706
メール：kouza@toyonaka-step.jp

<http://www.toyonaka-step.jp/>

担当：事業課



<https://business.form-mailer.jp/fms/0380a3c840646>

人と地域を元気にする男女共同参画 女性差別撤廃条約批准30年 すてっぷ2015

配布期限 2015年6月19日

地域人づくり事業「結婚・出産等により離職した女性のためのICT能力活用就業促進事業」募集

再就職活動中の女性のための

再就職活動での悩み、もやもや、疑問…
同じ状況のみんなで話し合ってみませんか？
再就職のためのプチ講座と交流会です

**女性
限定**

定員10人
先着



いろいろなお茶と、お菓子つき

会場：すてっぷ 阪急豊中駅 下車すぐ

5月22日（金）14：00～16：00

6月19日（金）14：00～16：00

1回だけでも、何度でも、受講OKです

プチ講座（60分）と、参加者みんなでの交流会（60分）です

5月22日 （金）	いざ面接！の 困った対策	久しぶりの面接…何を着ていく？ 準備はどうする？ よく聞かれることはなに？ 準備バッチリで面接に行くためのポイントをお聞きます。
--------------	-----------------	---

講師：ハローワークプラザ千里
衣笠雅子さん

6月19日 （金）	会いたいと思わせる 応募書類	応募書類は自分の分身。採用担当者に「会ってみたい」と思わせるポイントについてお話しします。
--------------	-------------------	---

講師：ハローワーク池田
那須佳代さん

進行：すてっぷ相談員・講師 森田江里子さん

※ご参加の方には「就職状況調査」へのご協力をお願いしています。
※希望者には受講後に「受講証明書」を発行します。

受講
無料
保育あり
（保育は有料）

いつ
でも

何度
でも

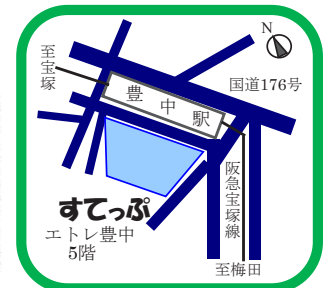
**就活カフェは
8月まで毎月開催**

女性の「働きたい」を応援するすてっぷではさまざまは就活支援を行なっています。「働く」ことを考えている女性なら何度でも受講OK。テーマは毎月変わります。

一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

応募締切：開催日の7日前まで
お申込みはWEBフォームまたはFAX(裏面)で

お問い合わせは すてっぷ まで <休館日：水曜日>
〒560-0026 豊中市玉井町1-1-1-501
電話：06-6844-9773 FAX：06-6844-9706
メール：kouza@toyonaka-step.jp
<http://www.toyonaka-step.jp/> 担当：事業課



<https://business.form-mailer.jp/fms/35ddd71238194>